

はじめに

～自主防災組織活動マニュアルの必要性について～

東日本大震災以降、首都直下地震や南海トラフ地震、相模トラフ沿いでの地震等の大地震の発生切迫性が取りざたされています。

地震の発生を防ぐことはできませんが、地震による被害は、自主防災組織の取り組みとしての平時からの地震への備えと地震発生後の適切な活動で大きく『減災』することができます。

被害を大きく減らすためには、地域の災害の特性を理解し、平時から災害リスクに備えるとともに、災害発生時に個々がバラバラに活動するのではなく、地域が組織的に役割分担して効率的・効果的に活動することが求められます。

地域が組織的に活動するためには、共通の目的意識をもとに協力できる事前の活動のルール（活動マニュアル）を作成し、地域全体が活動のあり方を理解する必要があります。

平成26年度は、このような「自主防災組織活動マニュアル」を各自主防災組織が作成し、震災時には地域が一丸となって協力し活動できるような体制を備えるための一助となるよう研修会を開催します。

茅ヶ崎市

《研修会スケジュール》

自主防災組織活動マニュアルの研修会は、3つのテーマに分けて開催します。

テーマ1 （6月～8月） 『地域の災害リスクを正しく理解する』

震災時の死の3大要素「家屋倒壊・家具の転倒」「津波」「火災」の実情と茅ヶ崎市で想定されている災害リスクに照らし合わせて、それぞれの地域ごとに何が一番命を奪うリスクなのかを正しく理解します。

テーマ2 （10月～11月頃） 『自主防災組織の活動の流れをイメージする』

地域の災害リスクに照らし合わせて、発災直後の応急活動から安全な場所へ避難するまでの活動の流れを図上検討します。あるべき活動の在り方を考え、現状での課題を把握することを目的とします。

テーマ3 （12月～1月頃） 『活動マニュアルの作成手順について』

テーマ2で検討した活動の流れを整理し、活動マニュアルの骨子案を作るとともに、地域の人が見て分かり易い活動マニュアルを作るための作成手順について学びます。